

フェアトレード・インターナショナル 年次レポート 2021-2022年

変化に対応するレジリエンスの構築へ



FAIRTRADE
INTERNATIONAL



目次

- 3 はじめに
- 4 フェアトレードのシステム
- 8 サステナビリティの基盤を築く:適切な生活水準からのスタート
- 10 気候変動と人権への注力
- 12 強くレジリエントな生産者組織
- 14 データへの着目
- 16 市場の観点:生産者の売上
- 18 新たな機会の活用
- 19 未来に向けたパートナーシップ
- 20 アドボカシーとエンゲージメント
- 22 フェアトレード・インターナショナルの財務と理事会

表紙写真:Lindaura Choque氏はボリビアのAsociación de Productores de Café Ecológico (APROCAFE) オーガニックコーヒー協同組合に加盟するコーヒー農家です。

本レポート(日本語版)では、129.8円/ユーロ、109.8円/USDとして円換算しています。

フェアトレードの主要な数値一覧

フェアトレード参加農家と労働者数は70ヶ国において

190万以上



フェアトレード認証生産者組織数

1,930

2021年に上位7産品でフェアトレード農家と労働者が獲得したフェアトレードプレミアムの金額

約247億円



2021年フェアトレード認証製品が販売された国は

143ヶ国



2021年時点で

2,568社のライセンス企業が販売するフェアトレード認証製品の数

37,600以上



フェアトレード花の販売量

21%増加(昨年比)

花茎・植物の売上が初めて10億本を突破



フェアトレードCOVID-19救援基金

20.5億円の恩恵を受けた

生産者組織数**667**

農家・労働者数は815,000人



フェアトレード・カーボンクレジットの取引によりプロジェクト向けに

7.6億円

以上を調達



それにより**650,000**トン以上の炭素排出量がオフセットされ、生産者へのフェアトレードプレミアムの金額は

約49.4百万円

国際フェアトレード認証製品の多くがオーガニック:

フェアトレードコーヒーの**63%**

フェアトレードバナナの**61%**

フェアトレードコットンの**56%**

がオーガニック製品



はじめに



Lynette Thorstensen
フェアトレード・インターナショナル
理事長

フェアトレード・インターナショナル理事会を代表して、私たちの最新の年次レポートをお届けすることができ、非常に嬉しく思っています。何よりもまず挙げさせていただきたいひとつの重要な要素として、次ページ以降で取り上げるそれぞれの活動を実現するために必要とされる連携があります。企業から政府、市民社会、農家、関心の高い消費者まで、フェアトレードを成り立たせているのは私たち全員です。こうした背景において、私は、理事会の専門知識、コミットメントや前向きな変革への意欲に感謝したいと思います。理事のみなさんの助言はまさしく羅針盤です。



ナイロビを拠点とする新グローバルCEOのSandra Uweraが加わり、フェアトレード・インターナショナルを共に率いるMelissa Duncan事務局長と共同で本年度の年次レポートを発表できることを嬉しく思います。

不確実な近年において、レジリエンスの構築はこれまで以上に重要です。農家と労働者は、他のすべての人々と同じように、気候変動、不確実な市場とコストの上昇、混乱と紛争で特徴づけられる未来に適応し、備えようとしています。フェアトレードは、これらの危機を乗り越えるべく生産者と密接に連携し、レジリエンスを定義し、レジリエンスを構築する要素についての学びを牽引します。世界中の生産者へのCOVID-19救援・復興支援の私たちの取り組みに対し、特にドイツ連邦経済協力開発省からの貢献に感謝いたします。

フェアトレード製品の売上、プログラム、パートナーシップとアドボカシーは、私たちの戦略における重要な要素です。持続可能な農業ソリューションの推進から政策アドボカシー、生産者の気候変動への適応能力の構築まで、生産者のための気候正義は私たちの最重要課題です。私たちは、人権に関するアドボカシーを達成し、トレーサビリティ、透明性やデータ所有権を生産者にまで拡大するというデジタル化の目標を前進させました。厳しい経済状況にもかかわらず、生活所得と生活賃金における私たちの取り組みは継続して前進しています。生産者の売上拡大とサプライチェーンへのサステナビリティの組み入れには、改革とパートナーシップが必要です。そして3つのフェアトレード生産者ネットワークはコロナ禍における支援を適応させ、生産者の製品のローカルマーケットを構築するための支援を行うことで、驚くべきレベルのサービスを生産者に提供しました。

今年は、フェアトレード・インターナショナルが、フェアトレードの先駆者として、活動の成長を先導するために結成されてから25周年を迎えます。私たちの最初の四半世紀は、生産者の胸が高鳴るような成長と、世界で最も信頼されるエシカルマークとしてのフェアトレードの確立でした。6月には、フェアトレードドイツの創立者で元CEO Dieter Overath氏と元フェアトレードグローバルCEOで元フェアトレードアフリカ事務局長 Nyagoy Nyong' o博士に生涯功労賞を授与しました。彼らの数十年にわたる貢献は、フェアトレードを少数派のアイデアからメインストリームへと押し上げ、個人の行動がいかに影響力と変革の輪を広げることができるかを教えてくれています。

フェアトレード生産者ネットワークの青年農家との取り組みと、新たなフェアトレードアンバサダープログラムを通じ、今、私たちは自信をもって、次世代のサステナビリティリーダーを支援しています。そして、世界をより公平・公正な場所にするために、日々自身の役割を果たしている数え切れないほど多くの農家、労働者、企業、支援者の存在を私たちは認識しています。

この取り組みを加速させる緊急性は非常に高くなっています。

フェアトレードは私たち一人ひとりに責任があります。レジリエンスがある持続可能な暮らしと、すべての人にとってより公平な未来を実現するため、ともに力を合わせましょう。

Sandra Uwera
フェアトレード・
インターナショナル
グローバルCEO

Melissa Duncan
フェアトレード・
インターナショナル
事務局長

フェアトレードのシステム： 公平な社会のために

フェアトレードは、世界で最も認知され、信頼されているサステナビリティラベルです。

厳格な基準と検証：国際フェアトレード認証製品は、農場から店頭まで、社会、経済、環境における厳しい基準を満たしています。独立認証機関FLOCERTが、生産者とサプライチェーン上の各事業者を監査しています。

生産者の強化：3つのフェアトレード地域生産者ネットワークが認証生産者組織に専門的な支援を提供しています。フェアトレード農家(*1)と労働者(*2)は、ビジネス力と地域社会を強化し、適正な労働条件の確保に努め、貿易取引での交渉力などを高めています。

(*1)農家：小規模生産者組合のメンバー農家。組合のメンバーの大半は、常時雇用労働者に頼らず、主に自分や家族の労働力を使って農業を営んでいる。

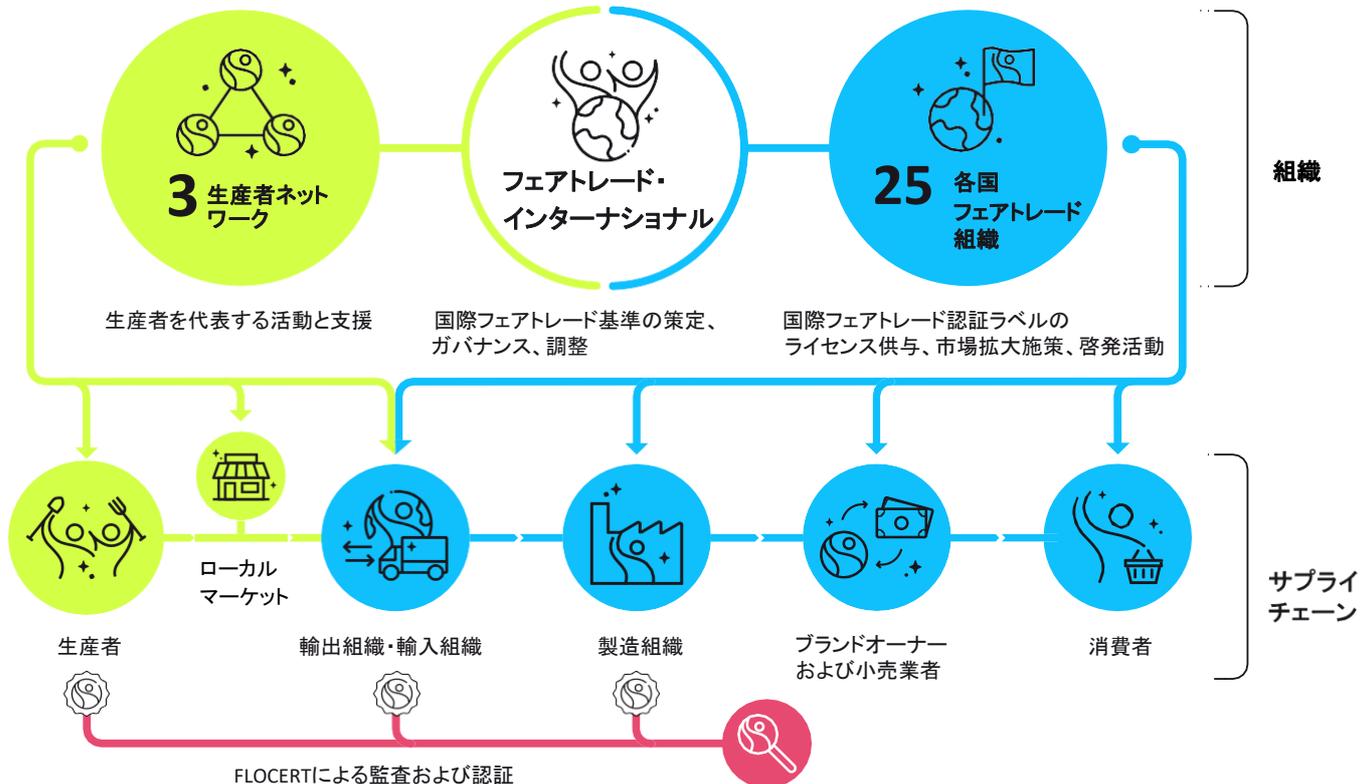
(*2)労働者：農産物を生産する農園やフェアトレード原料を加工する工場などで雇用されている労働者。

レジリエントな サプライチェーン：フェアトレードを通じ、企業や資金提供パートナーが生産者と協働して、未来のためのレジリエンスを構築しています。

市場の拡大：各国フェアトレード組織が普及啓発を行い、国際フェアトレード認証製品の需要を高める取り組みをしています。生産者は、ローカルマーケットでの市場拡大や新しい提案のためのノウハウを有しています。

変革を起こすために：私たちは、活発に活動する草の根コミュニティとも協力して私たちの声を結集し、すべての人に利益をもたらす、より持続可能な貿易政策を提唱しています。

The Fairtrade system



各地域の連携による グローバル戦略

私たちの2021-2025年グローバル戦略の主な理念は以下の3つです。

適切な生活水準で暮らすことは人権の一つです。
社会の公平さがサステナビリティを推進します。
徹底した提携が深い変化を生む力になります。

本レポートには、以下の戦略的優先事項に関する進捗を記載しています。
各セクションのアイコンで関連性が判別できるようになっています。

1. 農家と労働者へのパワーバランスのシフト

私たちは、適切で持続可能な生活を確保し、気候変動へのレジリエンスを高め、女性の支援と未来のリーダーとなる若者のサポートをします。



2. 成長と革新

私たちは、既存の関係を強化し、フェアトレード市場を新たな方向に展開し、生産者と企業に公正で持続可能な利益をもたらすサプライチェーンサービスを提供します。



3. アドボカシーおよび市民エンゲージメント

私たちは、人権リスク、気候変動、不平等、サプライチェーンにおける不均衡なパワーバランスに対処するための変化に挑戦します。



4. より公正なサプライチェーン構築のためのデジタル化

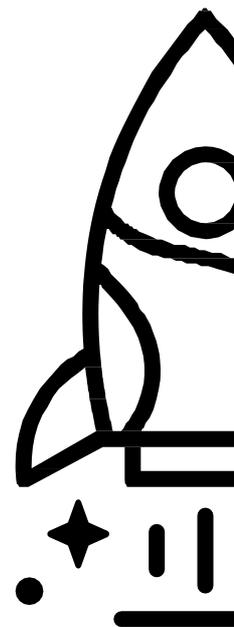
私たちは、データ、透明性、トレーサビリティを通じて、公正なサプライチェーンの力を引き出していきます。



ゴールまでの道のり： 未来への足掛かり

フェアトレードシステムは、25以上のメンバー組織、860名のスタッフおよび世界中にいる190万の農家と労働者で構成されています。より大きな影響を与え、公平であることが当たり前な社会にするため、私たち全員が力を合わせて活動することがフェアトレードの特徴のひとつではありますが、容易なことではありません。私たちの第5の戦略的優先課題は、イノベーション、パートナーシップ、そして私たち自身の効率性の向上に焦点を合わせています。

例として、気候変動、アドボカシー、人権・環境デューデリジェンスにおける中核チームの形成を含め、私たちフェアトレード組織全体における横断的連携と専門知識の活用の新たな方法を確立しました。2021年には、連携を強化し、生産者とコマーシャルパートナー、および内部分析のためのデータソリューションを開発しました。3つの地域フェアトレード生産者ネットワークの理事14名とスタッフ107名が、優れたガバナンス、アジャイル手法、財務管理、バリューチェーン開発、その他さまざまな分野において新たなスキルを得て、フェアトレードのプログラムやサービスの効果を高めることができました。欧州連合からの資金提供により、パートナーシップとアドボカシーを通じたフェアトレードのシステム強化と世界的なフェアトレードへの支持の高まりに向けた多くの活動が可能になりました。(19~20ページ参照)。

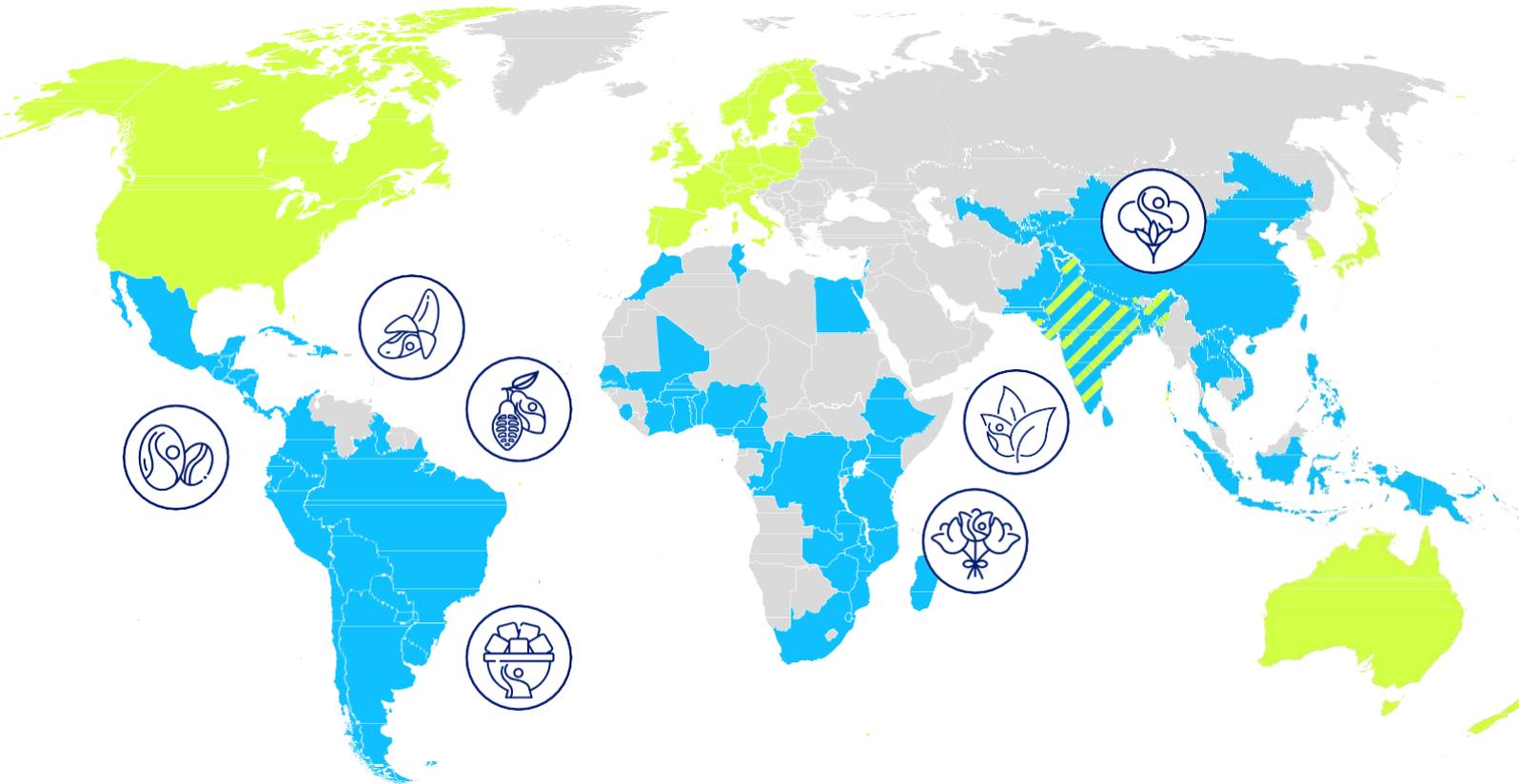


フェアな世界へ

 フェアトレード生産者
所在国

 各国フェアトレード組織
所在国

 フェアトレード生産者
ネットワーク



ラテンアメリカ・カリブ海諸島 (CLAC)

農家と労働者数 **354,154**
全体の**18%**



バナナ

フェアトレードバナナの **91%** が
ラテンアメリカおよびカリブ海諸島原産
上位3カ国: ドミニカ共和国、コロンビア、
エクアドル



コーヒー

フェアトレードコーヒーの **84%** が
ラテンアメリカおよびカリブ海諸島原産
上位3カ国: ペルー、
ホンジュラス、コロンビア



砂糖

フェアトレード砂糖の **66%** が
ラテンアメリカおよびカリブ海諸島原産
上位3カ国: ベリーズ、
パラグアイ、モーリシャス

アフリカ (Fairtrade Africa)

農家と労働者数 **1,354,294**
全体の**69%**



カカオ

フェアトレードカカオの **82%** が
アフリカ原産
上位3カ国: コートジボワール、
ガーナ、ドミニカ共和国



花

フェアトレード花の **99%** が
アフリカ原産
上位3カ国:
ケニア、エチオピア、
ウガンダ



コットン

フェアトレードコットンの **95%** が
アジア・太平洋原産
上位3カ国: インド、パキスタン、
セネガル



茶

フェアトレード茶の **56%** が
アジア・太平洋原産
上位3カ国:
インド、ケニア、マラウイ

米、ワイン用ぶどう、はちみつを含むその他のさまざまな国際フェアトレード
認証製品の情報については、最新の[モニタリングレポート](#)をお読みください。

2021年における生産者販売量に基づく

“フェアトレードプレミアム
によって自分のビジネス
に投資できたおかげで、
カカオの生産高が低下し
た時でも、収入を増やす
ことができるようになりました。”



カカオ生産者の Sankara Azéta氏は女性リーダーシップスクールの卒業生で、コートジボワールのECAMOMメンバーです。フェアトレードプレミアムの資金サポートにより、生地や化粧品の販売店も経営しています。



サステナビリティ の基盤を築く： 適切な生活水準 からのスタート

農家と労働者が貧困のなかで生活するがぎり、サステナビリティは存在しません。適切な生活水準は児童労働や森林破壊などの問題に取り組む農村の基盤です。フェアトレード生産者とパートナーが力を合わせ、生活所得、生活賃金、女性と若者のための機会に関する先導役を務めています。

生活所得には パートナーシップ が必須

生活所得の実現は、持続可能な収穫量、存続可能な農場規模、適切な価格を含むさまざまな要素に依存します。そうした条件や、地域ごとの生活コストに基づき、私たちは、任意の参考価格として生活所得水準価格を算定しています。今年初めには、インドネシアにおけるコーヒーのフェアトレード生活所得水準価格を発表しました。ウガンダ、ホンジュラス、ペルー、エチオピアなどの追加産地の価格は、生活費調査や農家を含むステークホルダーとの協議を進めながら、現在策定中です。昨年は世界的にコーヒー価格が著しく高騰した一方、カカオの価格は低迷しており、2021年4月以来、フェアトレード最低価格が市場価格を上回っています。

生活所得の実現に向けて、農家と協同組合は、農業の効率化と実践により、その役割を担います。政府は、より公正な貿易慣行の水準を高めるための政策を策定し、企業は、協同組合との長期的な調達をコミットし、生産性、品質、多様性、金融リテラシー、その他多くの分野に戦略的に投資します。

これらの実現に向け、作物の多様化など生活所得に必要な要素も組み合わせたパイロットプロジェクトとして、現在8社の企業がコートジボワールとガーナの11の協同組合に対し、カカオ生活所得水準価格を支払っています。ほかにも、フェアトレード最低価格とプレミアムの支払いを継続しながら、1つまたは複数の要素を強化すべくフェアトレードカカオ協同組合と連携している企業もあります。より広く学びを共有できるように、農家やビジネスパートナーとともに、これら初期プロジェクトの分析が進められています。

フェアトレードは、特定地域もしくは特定サプライチェーンの生活所得水準価格の試算を確立するための合理的な手法も策定しました。その取り組み産品（製品）には、タンザニア産のカシューナッツ、スリランカ産のココナッツ、ブラジル産のオレンジジュースが含まれています。企業は、レジリエンスを構築し、生活所得の実現に向けて、協同組合とともにこれらの対策を講じることができます。

生活賃金を伴う 適正な仕事

労働者の組織力は、公正な契約、健康と安全の保護、ジェンダー平等、そして生活賃金を含む適正な仕事の実現に必須です。



生活所得は、家族を養い、子どもたちが病気になった時にも医療を受けさせることができ、さらには将来、業績を上げることができるような農業を営むための手段なのです。

Finda Kouadio Théodore氏

コートジボワールCAPRESSA カカオ協同組合メンバー

フェアトレードは、生産者の収入、ウェルビーイング、レジリエンスにプラスの効果をもたらしています。

63件の研究をレビューした結果、全体的にフェアトレードは農家の世帯収入や資産にプラスの効果があり、教育や医療サービスなどに役立っていることを示しています。より公平な価格と、フェアトレードプレミアムによって可能になる投資は、この分野での重要な要素です。さらに、取引条件の改善や世帯の食糧確保といった要素も、農家や労働者のウェルビーイングに寄与しています。

出典: JodrellおよびKaoukji, [フェアトレードによるインパクトの探求: 2015-2020年におけるフェアトレードに関するリサーチのレビュー](#) (2022)



Ana Zoila Coto Guillen氏とBlanca Estela Chamol氏は、エルサルバドルのエル・スンサでコーヒーとサトウキビを生産しているAsociación Cooperativa de Producción Agropecuaria El Sunza R.L.のメンバーです。

国際フェアトレード基準では、労働者を雇うプランテーションに課された多くの要件が列記されているが、私たちの大きな望みは、労働者自身が自らの生活を向上させ、労働条件について交渉する力を持つことです。

企業に生活賃金の70%以上を支払うことを義務付けた2021年のバナナのベース給基準の導入以降、進展が出ているかどうか、主要なフェアトレードバナナ生産地域での分析を進めています。世界生活賃金連合の創設メンバーとして、とりわけ農業サプライチェーンにおける男女の賃金格差に関する調査を始めています。

2021年後半には、IDHの持続可能な貿易イニシアチブと、パートナーシップを開始しました。これは、IDHの給与マトリックスに基づき、賃金データを用いて、関連する地域別の生活賃金ベンチマークとのギャップを示すウェブベースのツールを使ったものです。フェアトレードの第三者認証機関である FLOCERT が賃金の支払いを検証できるようになったことで、いくつかの小売業者はフェアトレードと協力し、生活賃金との格差を埋めるため、調達量に応じた「生活賃金差額」を支払うようになっています。

私たちは、労働者権利諮問委員会の活動に加えて、多数のプロジェクトによって労働者を支援しています。自らの権利を知り、容認できない労働慣行への対処と団体交渉力を高める取り組みです。ブラジルの小規模オレンジ農園労働者とのプロジェクト(資金提供: フェアトレード・スイス)やエチオピアの花労働者や南アフリカのぶどう園労働者とのプロジェクト(資金提供: フィンランド外務省)などがあります。

女性や若者への 機会提供 より公平な未来へ

農家や家族のレジリエンスは、誰もが貢献できること、そして若者が有望な生計を立てられることにかかっています。

フェアトレード女性リーダーシップスクールは、最近東ティモールで開校されたものを含め、19カ国で実施されています。アジア太平洋地域では、リーダーシップスクール受講生が主導する22の「小規模起業家プロジェクト」が進行中です。ラテンアメリカでは、2021年にCLACスクールにおいて、6カ国380名の生産者が参加しました。

コートジボワールの学校では、2021年末に3期生が卒業し、卒業生の総数が121名になりました。フランス政府のEquité 2プログラムによる資金援助を受けて、現在別の84名の参加者が受講中です。この学校の成功により、コートジボワール政府は今後一連の年間プログラムへの資金援助をコミットしました。

ノルウェー開発協力庁(Norad)からの新たな資金援助により、ガーナに女性のためのリーダーシップスクールの設立が支援されました。また、ガーナとコートジボワールでは、カカオ農家のための若手組合長アカデミーを立ち上げ、現在15の組合から30人の若手農家を育成中です。

11月に開催された仮想グローバルフォーラムのフェアトレードユースコンベンションには、アフリカ、アジアおよびラテンアメリカの3つの地域のフェアトレード生産者ネットワークから若手の代表者が集結しました。約750名の参加者が、ネットワークを構築し、リーダーシップ、アグリプレナーシップ、気候変動、その他多くのスキルを高めました。

NAPPは20人以上の若手農家と協力して、インドでユース・ナレッジ・ハブを立ち上げ、アグリビジネス、多様な収入機会、気候変動問題、農業における技術の有効活用に関する情報を共有し、学習効果を高めるためのバーチャルおよびフィジカルなつながりを促進しています。



気候変動と人権への注力

気候変動を含む人権・環境権は、貿易の枠をはるかに超えたグローバルな重要課題でありながら、貿易がその解決策の一部を担う必要があります。フェアトレードは、パートナーシップの構築、そして自分たちの権利を擁護し、これらの根本的な課題に取り組むために必要なリソースを提唱するリーダーとなる農家と労働者の支援を重視しています。

農家による先導： 気候変動への適応 が緊急の優先課題

フェアトレードは、生産者が気候変動に直面した際の具体的なリスクの理解を深めるためにいくつかの方法で機能しており、自らの環境と生活を守るための措置を講じることができます。私たちの気候・環境に関するグローバル戦略は、最新のサステナビリティの議論を反映し、アグロエコロジーという包括的な原則を取り入れることで、持続可能な農業へのアプローチを明確にすることにつながりました。

3つのフェアトレード生産者ネットワークは、気候変動に対処する協同組合を支援しています。フェアトレード気候変動関連プロジェクトを分析・体系化すると、主に3つの分野：気候変動教育（2021年における気候変動関連のメッセージを伴うラテンアメリカ5ヶ国の470,000名の生産者に達したEXCHANGEプログラムなど）、気候変動適応計画の策定、気候変動レジリエンスにおけるベストプラクティスに関する研修に重点が置かれていることが示されています。合計500以上の生産者組織が、アグロフォレストリーや有機マルチング、所得の多様化などの気候レジリエンスのプラクティスを導入しています。

フェアトレードは、他にも、フェアトレード生産者ネットワークCLACが運営するラテンアメリカ・カリブ諸島地域の気候非常事態と大災害のための20万ドル基金などの基金を動員しています。2021年には、8カ国2,800以上のコーヒー、ワイン用ぶどう、果物、キヌア、はちみつ、ナッツおよびさとうきびの生産者が、この基金を通じて緊急支援を受けました。

フェアトレード気候基準により入手可能なフェアトレードカーボンプレジットは、生産者が重要なプロジェクトの資金を調達し、一方で企業には炭素排出を相殺するメカニズムを提供する方法です。ブルキナファソ、インド、レソト、ウガンダ、エチオピアおよびペルーでは、約66,000世帯がフェアトレードカーボンプレジットプロジェクトに従事しています。生産者組織は7.6億円以上のクレジットを獲得し、さらに追加投資として49.4百万円のフェアトレード・プレミアムの資金を獲得しました。今日までに650,000トン以上の炭素排出量が相殺されました。

最後に、援助資金提供者からの資金によるプロジェクトが企業や政府にとって重要な新しいアプローチの投資方法になっています。2021年には、33のフェアトレードプロジェクトを通して、世界各国で環境サステナビリティと気候変動の様々な状況に取り組みました。

さらに私たちは、コートジボワールのカカオ農家が森林破壊のリスクを監視し、メンバーを積極的に管理して健全な森林を促進することができるように、Earthworm財団と協働して森林破壊衛星システムの試験的な運用も行っています。同様の取り組みがラテンアメリカでも実施されています。

生活の向上を伴うフェア トレード 気候変動プロジェクト によるレジリエンスの構築

フェアトレードの気候変動適応策の成功は、農業生産、収穫量や多様性の向上につながり、それによって農民の生活水準を高め、気候変動に対するレジリエンスを強化しました。軽減活動により、エネルギー効率の高いストーブやバイオガスユニットの設置など、女性や若者のための補完的な雇用機会を創出することが可能になります。

気候変動プロジェクトで持続可能な利益を得るためには、最低でも5年の期間が必要です。[気候変動が6つの主要なフェアトレード作物の生産者にどのような影響を与えるか](#)について私たちが昨年公表したホットスポット分析によると、投資は急務であると言えます。

出典：Pacha およびClemens、[フェアトレード気候変動プロジェクト：経験からの学び](#)(2021)



Betman González Saavedra氏は有機に特化したカカオを栽培しています。ペルーにある彼の協同組合ACOPAGROIは、カーボンクレジット、アグロフォレストリーを実践し、カーボンクレジットの売上から収入を得ています。

児童労働に取り組む 包括的なアプローチ

生産者とトレーダー向けの国際フェアトレード基準には人権が盛り込まれており、特に児童労働や強制労働、職場での暴力、ハラスメント、差別を禁止しています。私たちは、2021年にフェアトレードコーヒー基準を更新し、児童労働のリスク評価と監視・改善システムに関する新たな条項を盛り込みました。

2021年12月には、児童労働の監視と改善に関するさまざまなシステムを比較し、生産者やその他のステークホルダーがシステムを選択し、費用負担をする際に指針となる研究を発表しました。

児童労働は、制度的不平等と不公正な取引条件、特に風土病的貧困の産物であるとの認識が重要です。フェアトレード最低価格とプレミアムを通じて、私たちは生活所得と同様に研修とプログラムに重点を置いており、フェアトレードは、児童労働の排除に必要な多くの要素、すなわち所得の向上、質の高い学校教育、子どもの権利の認識や適切な制度に取り組むための活動をしています。例として、2021年には、フェアトレード生産者ネットワークCLACがラテンアメリカとカリブ海諸島の200以上の生産者組織を対象に、子どもの権利と児童労働監視・改善システムの実施について研修を行いました。

児童労働に対処する若者や地域社会が参加するシステムフェアトレード

フェアトレード Youth-Inclusive Community-Based Monitoring and Remediation (YICBMR) システムは、苛酷な労働下にある児童を発見して労働を止めさせ、地域社会、政府や若者自身が参加する点において、共通の内部統制システム (ICS) より、より効果的であると考えられています。ICS は、トレーダーエンゲージメントにおいてより効果的であり、短期的にはより費用対効果が高いと認識されました。ただし、YICBMRシステムが児童労働撤廃のための国家行動計画や地域社会の仕組みに組み込まれるようになれば、より大きな財政的なサステナビリティを得ることができます。

出典: Erb他、[フェアトレード小規模生産者組織が実施した児童労働に関する監視・改善システムの比較評価\(2021年\)](#)

人権・ 環境デューデリジェンス

自主的な認証だけでは権利の尊重を保証することはできませんが、フェアトレードは権利の意識を高め、リスクを評価し、権利者がテーブルについて解決に向けて行動する重要な役割を担っています。国際フェアトレード基準はデューデリジェンスに一層重点を置いています。カカオ基準は、人権と環境デューデリジェンス (HREDD) に関する充実した条項を含むよう更新されました。同様に、トレーダー基準にもHREDDが協議に含まれています。

私たちは、生産者のための初めてのガイドブック [人権・環境デューデリジェンスの実践：ポリシーとプロセスをHREDDと整合させる理由と方法](#) を作成しました。このガイドブックは、グローバルなサプライチェーンにおける農家と労働者が、既存の環境と人権に関する活動に基づき、HREDDプラクティスに関して企業に影響を与え、さらにHREDD関連法の策定のあり方に影響を及ぼすノウハウを習得することを目的としています。

私たちは農家と労働者と共に、HREDDの法案に、生活所得と生活賃金、公平な購買慣行、価格設定、生産者との対話や単にリスクの高い地域にある生産者を切り捨てる「カットアンドラン」戦術を企業にさせないことの言及を確実に含めるよう各議員に提唱しています。270以上のフェアトレード生産者組織が、これらの点を指摘した欧州連合への [公開書簡](#) に署名しました。 [欧州連合のHREDD法案に対する私たちの見解をお読みください](#)。

特にヨーロッパでは、HREDDに関する新しい法律が施行され始めているため、オンラインリスクマップを開発し、どのような人権・環境リスクが様々な産品・地域で顕著であるかを明らかにした情報を企業に提供しています。



強くレジリエントな生産者組織による農家・労働者の生活向上

フェアトレードは、経済、環境、社会、ガバナンスの側面から、生産者に有意な支援をしています。この1年間、私たちは、特に苦難の時代において、何が強い生産者組織を作るのか、そして農家と労働者がどのような恩恵を受けるのかについて、フェアトレードのインパクトを調査するリサーチに投資してきました。

Fabio Rafael Pagero氏はドミニカ共和国Banelino協同組合所属の有機バナナ農家です。

より良い管理の傾向を示すフェアトレード生産者組織

2015年から2020年までの研究のレビューにより、非認証生産者よりも、フェアトレード生産者組織の管理、システムの方が優れており、財務能力がより大きい傾向が示されました。生産者組織のスタッフと同様に農家にとってもフェアトレードとの協働におけるメリットは大きいことも認識されています。ケニアでコーヒー農家を対象に行われた調査では、フェアトレードの研修、ガバナンス・透明性の改善と、農家の利益との関連性が示されました。

[出典: JodrellおよびKaoukji, フェアトレードのインパクトの検討: 2015-2020年におけるフェアトレードに関するリサーチのレビュー \(2022年\)](#)

3つのフェアトレード生産者ネットワークが認証生産者組織にサービスと支援を提供しています。2021年における支援には以下を含みます。

- ・ **ラテンアメリカ・カリブ海諸島地域:** この地域の全フェアトレード認証組織の83%を占める836生産者組織への研修と支援
- ・ **アフリカ・中近東地域:** 生産性、品質、効率性の向上におけるフェアトレードアフリカからの支援、その後、84%の生産者が行動を起こしました。
- ・ **アジア・太平洋地域:** 255の生産者組織からの1,000以上の農家と労働者(47パーセントが女性)への研修

フェアトレード西アフリカカカオプログラムの対象は270の協同組合に及び、25の協同組合は最もレベルの高いサービスに参加しました。研修、コーチング、アドバイザリーサポートを通じて、このプログラムは、メンバーやビジネスパートナーのニーズに応える強固でレジリエントなカカオ生産者組織の構築を目的としています。2022年には、最初の協同組合がプログラムを「卒業」し、より多くの協同組合が恩恵を受けるための準備が整う予定です。

昨年、参加者の大多数が、協同組合は懸念事項に耳を傾けて最善の利益のために行動してくれる(85パーセント)、さらに研修が自分の組織の前向きな改善に直接寄与した(100パーセント)と回答しています。

最新の地域別モニタリングレポートは私たちの[ライブラリー](#)をご覧ください。

COVID-19禍におけるレジリエンスの源

フェアトレード COVID-19 救援・復興資金は、今日までに667のフェアトレード生産者組織を支援し、815,000以上の農家と労働者に恩恵をもたらしました。1580万ユーロを超える資金が内部ソースおよびBMZ（ドイツ）、SECO（スイス）およびFCDO（英国）を含む複数の外部援助資金供与者から調達されました。2021年末に実施した調査によると、BMZとSECOから資金を受けたアフリカ・中近東地域が最大の打撃を受けたとみられ、サンプリングされた生産者組織のほぼ70パーセントが生産量とフェアトレード販売量の減少を報告しています。

近日発表される別の研究によると、フェアトレードの直接的な資金援助は、パンデミックによる生産者組織や農家世帯への悪影響を軽減する一つの要因になっていることが判明しています。

生産者組織のガバナンスは、持続可能性の重要な要素

経済的レジリエンス、社会福祉、優れたガバナンスおよび環境保全の調査における、バナナ、カカオおよびコーヒー生産者のケーススタディにおいて、生産者組織の優れたガバナンスは、農家のメンバーにとってのより大きな経済的利益につながっていることが示されました。フェアトレード認証生産者組織は、透明性がより高く、ステークホルダーとより広く関わる傾向があります。非認証生産者との比較において、フェアトレードプレミアムを管理する方法が一因となり、フェアトレード生産者は民主的プロセスを実行するための財源と能力をより多く有しています。

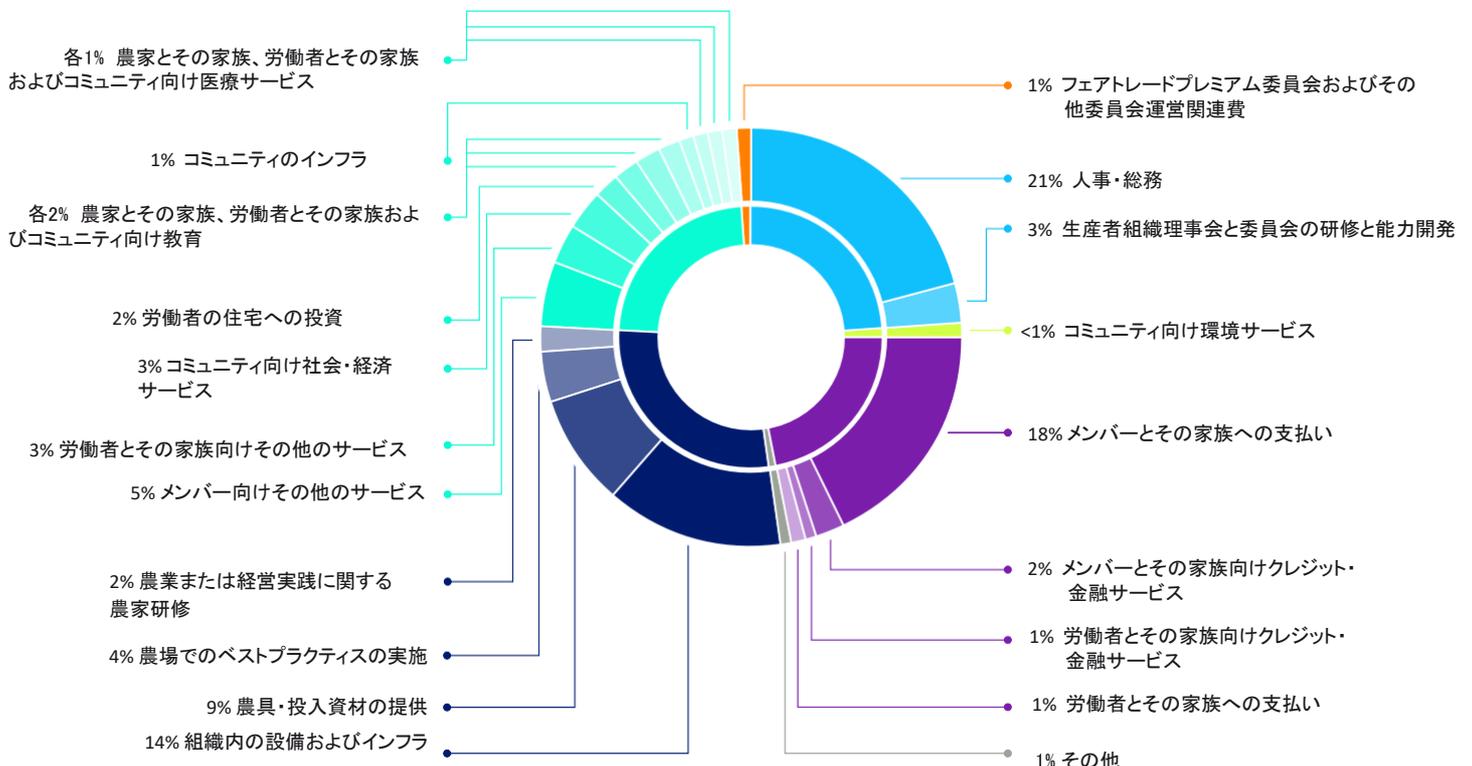
研究の著者は「…優れたガバナンスを真剣に考慮しなければ、サステナビリティは幻のままになる。」と、強調しています。

出典：MauthoferおよびSantos 農村開発を通じた貧困の削減および経済的レジリエンスに関するフェアトレードのインパクトの評価(2022年)

2021年における生産者組織によるフェアトレードプレミアムの使途

2022年時点で、生産者団体が毎年報告しているフェアトレードプレミアム投資の categorie を更新しました。新たなカテゴリーは、プレミアム投資の目的と効果をこれまでよりよく反映し、協同組合の農家と農園の労働者の選択をより容易に比較できるように、整合性も向上しています。

■ 生産	28%
■ 事業・組織開発	24%
■ 社会への投資	23%
■ 経済的利益	22%
■ 研修・労働者の地位向上	1%
■ その他	1%
■ 環境への投資	<1%





データへの着目

データには、農家、買い物客、企業を問わず、洞察力を高め、人々に責任ある行動を取ってもらえる潜在能力があります。
私たちのグローバル戦略は、透明性とトレーサビリティを優先し、何よりもまず確実に生産者が自らの情報のオーナーシップをもつようにすることです。私たちはそれを「Fair Data; データの公平性」と称しています。



Kouadio Koua Herman氏はコートジボワールECAMOM協同組合のカカオ農家です。

トレーサビリティとは、製品が農場で収穫されてから店頭まで道のりを知ることであり、透明性とは製品がどのような条件の下で栽培され、取引されたかのインサイトを示しています。私たちのシステムは、プライバシーとのバランスを考慮しながら、知見を深めるサポートをし、そして歴史的に小規模生産者が不利になっている市場情報への不平等なアクセスを克服するために、慎重に構築・運営されています。

例えば、生産者組織は、フェアトレードプレミアムの投資や効果に関する情報を私たちのFairInsightプラットフォームに保存して、コマチャルパートナーとの効率的な情報共有も開始しています。一方、売上その他のサプライチェーンの情報をステークホルダーに提供するデータウェアハウスとしてFairLensの開発も継続しています。

統合マネジメントシステムを構築するコートジボワールのカカオ協同組合のグループを支援するプロジェクトは2021年に試験運用に成功し、2022年中にさらなる拡大を開始しました。Farmforce農業用ソフトウェアにより、組合員の農場をマッピングし、生産・販売を追跡することができるようになりました。これは、トレーサビリティにおいて重要です。Earthworm財団との新たなパートナーシップにより、深刻な森林破壊データを把握して森林景観管理の改善を支援する衛星モニタリングツール(Starling)がガーナとコートジボワールのフェアトレードカカオ協同組合に展開されています。森林被覆の変化のモニタリング、森林破壊の警告、リスク分析により、協同組合は森林破壊を防ぎ、環境脆弱性に対処するために必要なツールを手に入れることができます。

各コンポーネントは、貿易のやり取りや、サプライチェーン全体にわたって製品を追跡するオンライントレーサビリティを促進する、包括的なデジタルFairMarketに適合しています。データは、より公平な貿易、消費者のためのより多くの情報に基づいた選択、そして持続可能な未来に貢献することができます。

“ 私たちアチェ・ガヨ出身者者は何代にもわたってコーヒー農家をしてきました。この家と畑は、父が父の父から相続したように私が父から相続しました。これは世代のつながりと言えます。”



Muhammad Karim氏は、Aceh Gayoというロブスタ種のコーヒー豆で知られるインドネシアTakengonの農家です。天候が不安定な山間部で、最高品質のコーヒーを生産できるのは、農家のノウハウがあるからです。Muhammad氏はKoperasi Kopi Gayo Organic (KKG)の農民グループの一員として、1年間農作業の記録をつけ、支出や収入を追跡しました。世帯の知見が深まり、フェアトレードは集計データを分析し、アチェ地域のコーヒーの生活所得基準価格を策定しました。



市場の観点： 2021年における 生産者の売上

パンデミックが継続している状況にもかかわらず、多数のフェアトレード生産者が2021年に多少の回復を実現し、世界中で獲得されたフェアトレードプレミアムは約247億円に達しました。しかし、農場と家計の支出の増加が農家と労働者の経済的安定を未だに脅かし続けています。

バナナ

フェアトレードバナナ10本中6本が認証オーガニックでした。フェアトレードバナナの売上は安定していました。フェアトレード生産者は、特に包装資材、肥料、エネルギー、物流や運賃の値上げによる生産コストの継続的な上昇に直面してきました。2022年の初旬に、バナナの価格が低迷するなかで、[7つのラテンアメリカ政府](#)が、責任の分担、農家向けのより公平な価格や業界における参考としてのフェアトレードバナナ価格設定方法利用を求めるという前例のない対策を講じました。このアドボカシーへの対応は年間契約が定められる2023年初旬に見られることとなります。2021年におけるフェアトレードバナナの上位消費者市場は英国、ドイツおよびフランスで、オーストリア、カナダおよびスペインでの伸びが顕著でした。



コーヒー

フェアトレード生産者のコーヒーの売上は、飲食店でのコーヒー提供が依然としてCOVID-19の影響を受けたことから、3パーセントの微減で比較的安定しています。世界的な市場価格の上昇は、肥料や輸送コストの高騰によってほぼ相殺され、2022年には生活費とともにさらに上昇しました。高く評価されているフェアトレードによる全国ゴールデンカップコンテストが13ヶ国で開催され、引き続きフェアトレードコーヒーの品質の高さをアピールし、新たなバイヤーの関心を高めました。拡大する市場を後押しするため、小規模な参加者がより手頃な価格でフェアトレードコーヒーを提供できる国も増加しており、コーヒーは、今ではマルチ成分製品の一部として、フェアトレードの認証を受けることができるようになりました。2021年に公表された改定フェアトレードコーヒー基準には、不公正な取引実務に対するより明確な規制や、人権や環境の評価・行動に関する新たな要求事項が盛り込まれています。2021年におけるフェアトレードコーヒーの上位市場は、ドイツ、英国、カナダ、フランスおよび米国でした。スイスと新興国市場では、2021年に2桁の増加を示しました。



カカオ

フェアトレードカカオ生産者は、2021年に37パーセントの大幅な売上増を記録しました。この売上増は、2020年にトレーダーがフェアトレードカカオの過剰在庫を売却したことによる在庫縮小、パンデミックに起因する物流における課題と2019年10月時点での農家向けフェアトレード最低価格・プレミアム増額の効果に続いて起こりました。この増額は、商業パートナーからの継続的な支援と、新たな商業パートナーがフェアトレードからの購入とを選択したことによります。2021年におけるフェアトレードカカオ製品の上位市場は、ドイツ、米国、英国、オランダおよびフランスでした。新興国市場では、2021年におけるカカオの売上に60パーセントの増加が見られました。



花

2020年の困難な年を経て、フェアトレードの花生産者は、2021年に21パーセントの売上増加を経験しました。パンデミックの影響により、消費者はロックダウンの間には頻繁に、フェアトレードの花を主に販売するスーパーマーケットで買い物をするようになりました。花農園が太陽光発電などの環境技術への投資を拡大している一方、[study of ケニアの花農園についての研究](#)では、ヨーロッパへの船舶輸送が航空輸送との比較において最大95パーセントのCO2排出量を削減することが判明しています。東アフリカ、特にケニアとエチオピアの労働者が、世界で販売されているフェアトレードの花の10本中9本を栽培しています。2021年におけるフェアトレードの花と植物の上位市場は、ドイツ、英国およびスイスで、フィンランド、スウェーデン、オーストリアが僅差の順位でした。フランスとアイルランドは特に高い増加傾向を示しました。



フェアトレードプレミアムのおかげでとても助かりました。保護具に関しては必要なものがすべて揃っています。苗も植えましたし、あらゆることに役立っています。

Isabel Jaramillo氏

エクアドル、グアヤスの
バナナ組織

Asociación Agropecuaria

コットン

2021年において、フェアトレードコットン生産者のCOVID-19からの回復ペースにはばらつきがありました。全フェアトレードコットンの3分の2を占めるインド産コットンの売上が減少を示した一方、パキスタン農家の売上は27パーセント増加しました。フェアトレードでは、2021年にインドでパイロットプロジェクトを開始し、オーガニックコットン向けのフェアトレード価格に加えて、追加「オーガニック差分」が支払われます。ISEALからの支援を受けて、フェアトレードは、農業のためのサステナビリティ実施レポートへの調和したアプローチとして、コットンおよびコーヒーイニシアチブにより策定されたデルタフレームワークの方法を検証するパイロットプロジェクトにも参加しました。2021年におけるフェアトレードコットンの最大市場は、ドイツとフランスで、いずれも2020年比で高い伸びを示しました。



砂糖

フェアトレード砂糖の売上は、2020年のパンデミック発生からの反動と、国によっては、生産者組織へのフェアトレードプレミアム支払いの時期が異なることもあるため、2021年は増加しています。

フェアトレードさとうきび生産者は、2025年までのベリーズ国家児童労働政策と戦略の採択に重要な役割を果たし、フェアトレードの支援を伴う若者を含めた独自の取り組みにより、フェアトレードは、特定の原産地のサプライチェーンと共同で、多くの炭素・水のフットプリント調査も実施しています。2021年におけるこの小売市場での売上も英国、米国およびドイツが上位を占め、フィンランドとイタリアが高い伸びを示しました。



茶

世界的に茶の需要は、恐らく一部の市場での他の飲料へのシフトに起因して減少傾向にあり、フェアトレード生産者の売上も残念ながら例外ではありません。すべての小売市場が2021年に伸びを見せたわけではありませんが、フェアトレード茶の最大市場は英国、スイスおよびオランダでした。とりわけオーストラリア、ニュージーランドおよびアイルランドにおける売上が顕著に増加しました。



2021年におけるフェアトレード生産者による主要7製品の推定販売量

産品	量	単位 ¹	従来型	有機	獲得した フェアトレードプレミアム
バナナ	739,111	MT	39%	61%	4,502 百万円
カカオ (カカオ豆)	241,455	MT	82%	18%	6,378 百万円
コーヒー (緑豆)	222,328	MT	37%	63%	10,690 百万円
コットン (コットンリント)	10,903	MT	44%	56%	201 百万円
花および植物	1,150,970	1,000品目	100%		1,106 百万円
砂糖 (さとうきび)	180,348	MT	77%	23%	884 百万円
茶 (チャノキ)	7,690	MT	57%	43%	510 百万円

注記

この表は全フェアトレード農家と労働者の90パーセント以上が生産した7製品のデータです。報告された量は最終的な販売先を問わずフェアトレード条件に基づき販売した量であり、発行時点で入手可能な最善の情報を反映しています。

¹ MT = メトリックトン
「品目」には花茎と植物を含む

フェアトレード・インターナショナルでは一貫してユーロで報告されますが、大半のフェアトレードプレミアムが米ドルで生産者に支払われます。2021年の上位7製品のフェアトレード・プレミアム収益の米ドル建て年間成長率は8パーセントでした。

新たな機会の活用

グローバル
戦略上の
優先事項



フェアトレード生産者ネットワークは、地元市場の需要を拡大し、自らの製品を市場に出し、ビジネススキルを身につけようとする生産者を支援しています。



Ana Sayago氏(中央)は、アルゼンチンCOOPSOLの有機ハチミツ生産者です。COOPSOLのラテン系女性はちみつイニシアチブの一環として、この地域の蜂蜜市場を開拓しています。

フェアトレードインドは、ソーシャルメディアキャンペーンや学校・大学での活動を含めサステナブルな選択についての意識を高め続けています。全国20以上のノホテルホテルが、地元のフェアトレードの原料と低プラスチック包装を使用して製造されたサステナブルな浴用製品を地元の企業から調達し始めました。

インドの消費者は、2021年に122万ユーロ相当以上のフェアトレードの食品とファッション製品を購入しました。

アジアではさらに広い範囲で、コーヒーやオーガニック製品を含む市場機会を拡大するためにNAPPが見本市での存在感を高めてきました。

フェアトレードアフリカは、生産者組織の起業家精神の育成と、拡大する地元市場の関心の活用を支援し、2021年には生産者組織数が144に達しました。新たにアフリカを拠点とする5社が、ワイン、コーヒーおよび茶を含む国際フェアトレード認証製品の調達とラベル付けを開始し、地域フェアトレードの売上が31パーセント増加しました。

ラテンアメリカでは、CLACがブラジルで「south to south」パイロットプロジェクトを開始して、地域に根ざした企業との連携を強化し、国際フェアトレード認証製品の販売におけるブラジル市場の潜在能力を調査しています。

農家もビジネススキルに磨きをかけ、パイヤーに働きかける新たな方法を模索しています。私たちは、2022年初頭にバーチャルフェアトレードコーヒースクールを開校し、475の農家が市場参入の拡大を目指す10カ月のカリキュラムを受講しました。Vuna Originコンサルティングとのパートナーシップにおいて示されたテーマには、グリーンコーヒー取引の基礎、デジタル市場へのアクセスやクライアントエンゲージメントが含まれています。

1997年の出来事

フェアトレード・インターナショナルは、さまざまな異なる名称と認証ラベルを有する14ヶ国のフェアトレード組織が集まり、25年前に設立されました。

1997年当時は：

現在対象とされている
**153の製品と
300以上のハー
ブ・スパイス**

よりも大幅に少なく、
コーヒー、茶、バナナ、
カカオ、砂糖、
はちみつのみでした。



フェアトレード・バナナが初めてオランダのスーパーマーケットに登場したのは、
その1年前の**1996年**
のことでした。



国際フェアトレード認証ラベルが登場したのは、
たった**20年前!**の
2002年です。



未来に向けた パートナーシップ

パートナーシップは農家と労働者の利益拡大において不可欠です。フェアトレード組織は、民間企業、政府、研究機関、国連機関および市民社会組織と、地域、国、地方で連携しています。私たちはこれまでに150以上のプログラムを実施してきました。

サステナビリティ アジェンダへの 投資

政府機関によるコミュニティとフードシステムにおけるサステナビリティを構築するプログラムへの投資が増加しています。

例として、オーストラリアおよびニュージーランド政府が、太平洋地域におけるフィジー、パプアニューギニア、サモア、ソロモン諸島、東ティモールおよびトンガの生産者組織を支援するフェアトレードオーストラリアとニュージーランドに資金を供給しています。テーマには、ガバナンス、貿易関係の強化、気候への適応、児童の保護、労働者の権利やジェンダーが含まれています。2021年、欧州連合の資金援助により、フェアトレードは政策提言、調査、能力開発、女性や若者を対象としたプログラムの実施において、より大きな前進を遂げることができました。このプログラムでは、15人のフェアトレード大使が、世界中の農家や労働者が緊急に必要としていることを伝えることができるよう、その能力を高めています。

よりレジリエント なサプライチェーン に向けた連携

企業は、フェアトレード生産者ネットワークと連携して、労働者の権利への取り組み、農作業の改善や生活所得の向上のためのサプライチェーンパートナーへの投資を行っています。

本報告書の他のセクションで紹介されているプロジェクトもいくつかあります。

公共投資と民間投資の両方の価値を活用した例として、

Sankofa 2.0は、気候レジリエンスを構築し、ガーナの農家組合Kuapa Kokooのカカオ農家と共にダイナミックなアグロフォレストリーの実践を拡大しています。このプログラムはスイス・オランダ政府、スイスチョコレート製造組織Halba、コープスイス、国際貿易センター (ITC)およびフェアトレード Max Havelaarスイスが出資したパイロットプロジェクトを活用しています。1,500以上の農家が研修を受け、新たに換金作物を作付けした結果、収入が25~125パーセント増額しています。

SDGsに向けての より強い結束

フェアトレードは、国連17の持続可能な開発目標 (SDGs) の多くに有意義な形で貢献しています。同様の考え方を有する組織と力を合わせることで、サステナビリティのグローバルな推進に貢献し、共通の目標に向けた変化を加速させることができます。

私たちは、この1年で新たに10の協業パートナーシップを始めました。例として、世界各国でサステナビリティと社会の公平さへの取り組みを拡大する変革のイニシアチブを称える国連SDGアクションキャンペーンのパートナーになりました。私たちはGrow Aheadと共に植林のクラウドファンディングプロジェクトを立ち上げ、ガーナのKuapa Kokooに100,000米ドルの出資を取り付けました。さらにフェアトレードは、Cool Farm Allianceに加盟し、温室効果ガス排出量測定ツールを用いた複数の製品の炭素もしくは水のフットプリント測定調査を委託しています。

現行プロジェクトを閲覧するには[インタラクティブマップ](#)にアクセスしてください。

私たちの活動に最も密接に関連する12のSDGsに優先付けをしました。[詳細についてはこちらをご確認ください。](#)



アドボカシーと エンゲージメント

フェアトレードは、草の根の強い支持を受け、世界的に広がり、信頼されているマークといえます。しかし調査の結果、私たちはフェアトレード以外の世界貿易を思うように変化させていないことがわかりました。

だからこそ、アドボカシーが私たちの現在の戦略において重要な役割を担っているのです。生産者の声を前面に押し出し、すべての人に利益をもたらすよう、より公平な貿易を推進する私たちのメッセージを広く、強く訴えるのです。

アフリカフェアトレードコンベンションやグローバルユースコンベンションなどのイベントを通じて、フェアトレードは、アドボカシーの取り組みに参加する生産者と消費者、民間企業、市民団体や政府を動員し、パートナーシップを構築してきました。

2021年後半には、生産者向けに[フェアトレードに関する公共政策が市場参入を可能にする方法についての分析](#)を公表すると共に、フェアトレード企業を支援し、政府による公平な貿易の原則とネットワークの認知度を高めています。

よりローカルな事例として、GLACはパラグアイのフェアトレード・プラットフォームがサトウキビセクターで重要なアクターとなるための支援をしました。これにより、プラットフォームは女性や若者の問題を提唱し、サトウキビとその副産物の持続可能性に関する政府政策を促進することができました。2021年にグラスゴーで開催されたCOP26では、フェアトレード生産者も参加し、農民や労働者のための資源を求めるアクションを展開しました。

2021年11月には、第14回国際フェアトレードタウンのバーチャル会議がスイスフェアトレードネットワークの主催で開催されました。地方自治体、国際機関や市民団体を代表する23カ国からの講演者50名以上が、都市が持続可能な開発のためにどのような「ゲームチェンジャー」であるか、についての議論を展開しました。フェアトレードタウンは2,000ヶ所以上、フェアトレードスクールや大学は数千ヶ所以上あり、公平さと持続可能性のために、市民や若者のエネルギーとコミットメントを活用して活動しています。

声を上げる生産者

HREDD法(11ページ参照)に加え、私たちはEUの[森林破壊に関する法律](#)を改正するよう働きかけています。

その結果、小規模なカカオやコーヒー農家が予期せぬ被害から保護され、貧困など森林破壊の根本的な原因が考慮されるようになりました。

この件に関するEUグリーンディール指導部への[生産者からの公開書簡](#)には、フェアトレード・アドボカシーオフィスとの協力により、50以上のNGOが署名しています。

公平な エンゲージメント

[Good Clothes, Fair Pay](#)や[Justice is Everybody's Business](#)などの消費者行動キャンペーンは、他のサステナビリティ組織とのパートナーシップの産物で、私たちは、食と衣服の選択における公平さの課題について認知度を高め、公共政策を変えることを目指しています。2021年には、フェアトレードアフリカが、数カ国におけるソーシャルメディアキャンペーンを通じて40,000名以上を動員し、気候変動に関する課題の認識を高め、女性と若者の権利を後押ししました。2022年5月の世界フェアトレード・デーに、NAPPはインドネシアのビジネスリーダー、政府代表、市民団体を対象に、地域および世界市場におけるフェアトレードの機会についてのウェビナーを開催しました。



フェアトレードを通じて、声を上げて行動する意欲が湧いてきました。私たちの多様な考え、スキル、才能を合わせれば、もっと強くなれます。だから、見守るのではなく、提言をしていきましょう！

Nicole Gonzalez氏

フィリピンのフェアトレードアンバサダー
兼コナッツ農家多目的協同組合のコ
ナッツ農家

“
ここで働くことで、貯蓄を増やすことができました。この貯蓄と、息子のサポートもあって、自分たちの家を建てることができました。”

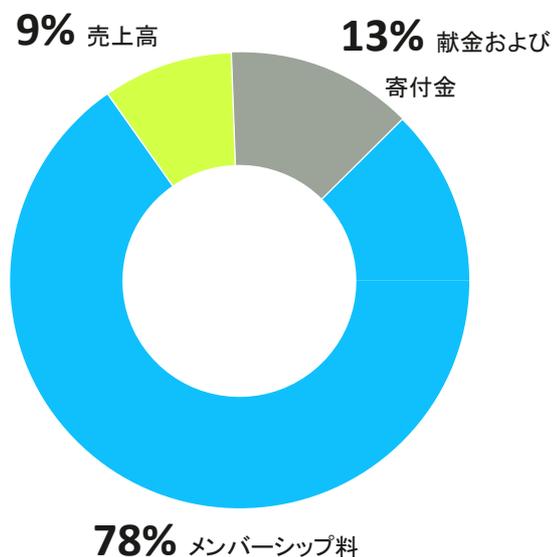
Lata Admi Shinde氏は、インドのPurecotz Eco Lifestyles Pvt. Ltdで17年間縫製工をしてきました。夫、息子と義理の娘と一緒に暮らしています。前職では出来高払いで給与の支払いを受けていました。Purecotzでは、工場の仕上部門での働いています。今では医療を受けることができ、パンデミックの間、工場が閉鎖された期間も給与の支払いを受けることができました。

フェアトレード・ インターナショナルの財務

2021年決算報告書

以下に概説した主要な財務数値の概要は、内部マネジメントレポートおよび2021年財務諸表からの抜粋です。前年度同様、財務諸表は外部監査の結果、無限定適正意見を受けています(KPMG)。フェアトレード・インターナショナルの会計実務は、一般に公正妥当と認められる会計基準および関連ドイツ法規(HGB)に準拠しています。

収入

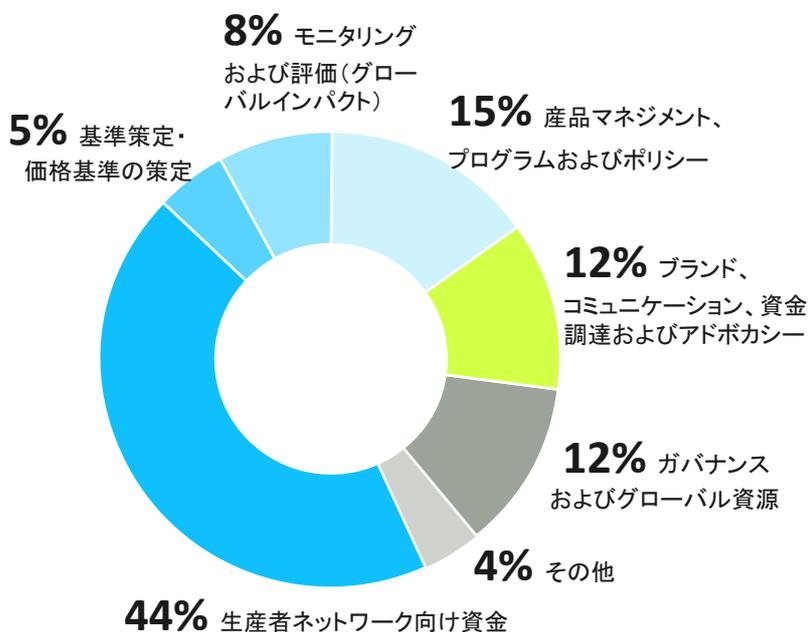


メンバーシップ料: 各国ラベル認証機関(NFO)は、製品への国際フェアトレード認証ラベルの使用を許諾する企業からライセンス料を受領しています。フェアトレード・インターナショナルは、メンバーシップ組織としてNFOからメンバーシップ料を受領しています。メンバーシップ料は用途を限定しない資金であり、各NFOのライセンス料収入に対し一定の割合で計算されます。

売上高: 国境を越えた売上および国際ライセンス供与からの収入を含みます。

献金と寄付金: 助成金を含みます。

支出



生産者ネットワーク向け資金:

3つのフェアトレード生産者ネットワークは、この資金を受領して、地元地域の生産者に支援サービスを提供します。2021年においては、地元地域で生産者ネットワークが分配したフェアトレード COVID-19生産者救援・復興基金が含まれています。

ブランド、コミュニケーション、資金調達およびアドボカシー:

これらの役割に関連する人件費に加えて、パートナーへの助成金の一部を含みます(150万ユーロ)。

ガバナンスおよびグローバル資源:

理事会・総会および財務、IT、人事、法律業務および国際ライセンス供与の役割に関連するコストを含みます。

損益計算書

	2021年 (€'000)	2020年 (€'000)
総収入	30,423	34,280
総支出	29,432	33,486
投資収入	500	8
所得税	162	77
税引後利益	1,329	725
前期繰越利益	2,052	0
積立金の増減	1,116	-1,153
繰越利益	2,265	1,878

2021年貸借対照表(€'000)

	2021.12.31	2020.12.31
固定資産	1,271	1,329
無形固定資産	17	23
有形固定資産	91	143
金融資産	1,163	1,163
流動資産	14,669	14,912
売掛金	4,065	4,971
その他の資産	441	613
流動資金	10,163	9,328
前払費用	510	176
合計	16,450	16,417

	2021.12.31	2020.12.31
株主資本	8,643	7,315
制限付き指定積立金	344	620
別途積立金	6,035	4,643
当期純利益	2,264	2,052
引当金	3,570	3,179
負債	1,752	1,599
消耗品およびサービス負債	1,436	1,379
その他負債および未払金	316	220
前受収益	2,485	4,324
合計	16,450	16,417

フェアトレード・インターナショナル 理事会メンバー

2022年6月時点における理事

Lynette Thorstensen 理事長(無所属)

Bill Barrett 副理事長(NFO代表)

Miguel Ángel Munguía Gil 副理事長(生産者代表)

Frank Harnischfeger 財務担当(無所属)

Rhea Beltrami(NFO代表)

Wambui Chege(無所属)

Andrea Debbané(NFO代表)

Kouame N'dri Benjamin-Francklin(生産者代表)

Gnanasekaran Rajaratnam(生産者代表)

Merling Preza Ramos(生産者代表)

Laurence Tanty(NFO代表)

2021年フェアトレード・インターナショナル 資金提供パートナー

欧州連合 - フレームワークパートナーシップ協定

欧州連合 - SWITCH-アジア

ドイツ連邦経済協力開発省(BMZ)

ドイツ国際協力公社(GIZ)

2021年フェアトレードグローバルシステム 資金提供パートナー

豪州外務貿易省(DFAT)

拡大統合フレームワーク(EIF)

責任ある鉱物利用のための欧州パートナーシップ(EPRM)

フランス地球環境基金(FFEM)

フランス開発庁(AFD)

ドイツ連邦経済協力開発省(BMZ)

ドイツ国際協力公社(GIZ)

米州財団(IAF)

国際貿易センター(ITC)

ISEAL

イタリア開発協力庁(AICS)

イタリア労働社会政策省

フィンランド外務省

ニュージーランド外務貿易省(MFAT)

オープン・ソサエティ財団

スイス持続可能なカカオのためのプラットフォーム

スイス連邦経済省経済管轄局(SECO)

援助と国際開発のための繊維リサイクル(TRAID)

Trias

英国外務・英連邦・開発省(FCDO)

イタリア・ヴェネト地域

ウォータールー財団



FAIRTRADE
INTERNATIONAL

フェアトレード・インターナショナル Bonner Talweg 177 53129 Bonn Germany
電話 +49 (0) 228 94 92 30 ファクシミリ +49 (0) 228 24 21 713 info@fairtrade.net www.fairtrade.net

‘Fairtrade International’を以下でフォローしてください。



免責事項

本レポートにおけるデータは、フェアトレード内の各種モニタリングおよびデータ収集システムに基づいており、監査プロセスを通じて生産者組織から報告される場合や他のサプライチェーン関係者から報告される場合があります。フェアトレード・インターナショナルはデータの正確性に責任を負いません。本レポートは知る限りにおいて編集され、情報提供のみを目的としています。フェアトレード・インターナショナルは新情報の入手が可能になった場合、モニタリングデータを更新する権利を留保します。提供されるデータは「現状有姿」で、データの正確性や信頼性についてのいかなる保証もいたしません。フェアトレード・インターナショナルは、法律の許す範囲において、データの質や完全性に関するいかなる請求や損害に対しても責任を負いません。

クレジット

写真: Dennis Salazar Gonzales / Fairtrade Germany (表紙); Alexia Perrotti / Fairtrade (p. 3); Mohamed Aly Diabaté / Fairtrade / Fairpicture (p. 7, 8, 14); Luís Tobar / CLAC (p. 9); Midaly García Huamán / CLAC (p. 11); Christian Nusch / Fairtrade Germany (p. 12); Brahmantyo Putra / Fairtrade / Fairpicture (p. 15); CLAC (p. 16); Iñaki Mantz / CLAC (p. 18); Anna-Maria Langer / Fairtrade (p. 19); Nicole Gonzalez (p. 20); Ranita Roy / Fairtrade (p. 21). レイアウト: Dreimalig, Cologne